

2016年4月19日

AGC旭硝子、メキシコにて自動車用ガラス新工場の開所式を実施

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は4月14日、メキシコのサン・ルイス・ポトシ州ビージャ・デ・レジェス市にて、当社子会社であるAGCオートモーティブ・メキシコ社の、新工場生産開始に伴う開所式を実施しました。式典には、ロペス州知事をはじめとした政府関係者、工業団地関係者など約110名の方に列席頂きました。



AGC 旭硝子 島村 CEO によるご挨拶



政府関係者との記念撮影

近年メキシコは、主要自動車メーカーが北米・欧州への輸出拠点と位置付け、自動車産業の新たな集積地となりつつあります。AGC旭硝子は自動車用ガラスの需要拡大に対応するため2013年にAGCオートモーティブ・メキシコ社を設立し、2015年下期より商業生産を開始しています。

当社はこれまで北米における自動車用ガラスの生産拠点として、AGCオートモーティブ・アメリカ社（米国）のペルフォンテン工場及びエリザベスタウン工場にて年間約360万台の能力を有していました。この度メキシコの生産開始で、約75万台（2割相当）を増強しました。AGCグループは、経営方針 *AGC plus* のもと、成長事業と位置付ける自動車用ガラス分野で、伸長する需要を着実に取り込み、売上高の拡大を目指します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：AGC旭硝子 経営企画部広報・IR室 小林 純一
（担当：宮川 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com）



<ご参考>

【AGCオートモーティブ・メキシコの概要】

社 名 AGCオートモーティブ・メキシコ

社 長 大西夏行

所 在 地 サン・ルイス・ポトシ州 ビージャ・デ・レジェス市

出資比率 AGCグループ 100%

事業内容 自動車用ガラスの製造・販売

生産能力※ 自動車用合わせガラス（75万台分/年）

※2016年3月末時点、以後順次拡大予定

